



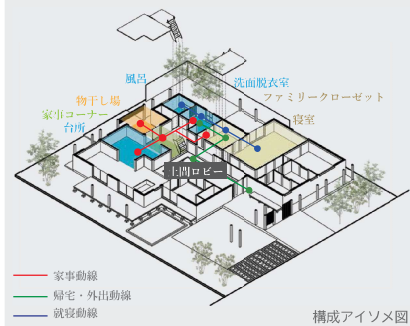
■設計コンセプト

住宅内の土間のはかつて作業場や炊事場として、住宅面積において大きな割合を占めていた。しかし現代では板敷を中心とする生活様式に移り変わり、玄関の靴脱ぎ場など、住宅の中で極めて小さな存在となっている。

屋内では靴を脱いで過ごすという現代の生活様式を大きく変えることなく、土間の存在感を高め、「土足利用ができる屋内空間」という特性を活かせないだろうか。

現代の生活様式に土間の存在を当てはめると同時に、自然豊かな周囲の様相を感じられる住宅を提案する。

■ダイアグラム



構成アイソメ図

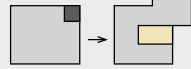
■構造計画・木材利用



構造アイソメ図

■ダイアグラム

現代の住宅での土間および玄関は住宅端部へと追いやられ、外部との境界としての意味合いが強い。玄関ロビーとなる土間は住宅中心に配置し、帰宅・外出時の家族の気配を感じることができるとともに、幼い子どもがいる家族の屋内活動の場としても利用できるように計画した。



家事を効率的に行うことのできる家を目指し、キッチン、家事スペース、物干し場、洗面脱衣室、ファミリークローゼット（ウォークインクローゼット）、寝室、土間ロビーを集約して配置させ、【家事動線】・【帰宅・外出動線】・【就寝動線】が容易なものとなるよう計画した。

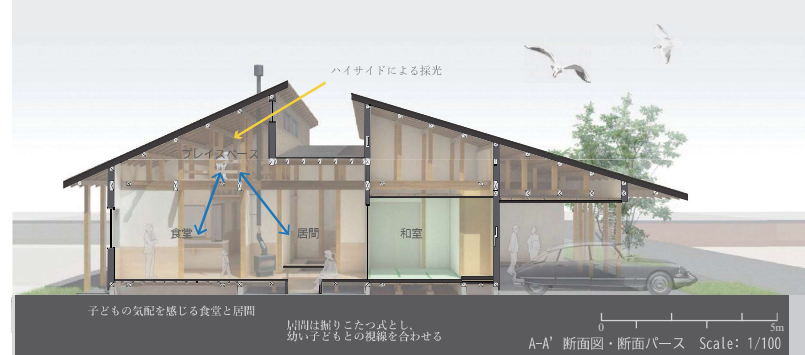
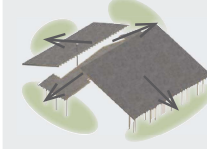
■構造計画・木材利用

在来軸組構法による計画。屋外と面する壁は大壁仕様、屋内の間仕切壁は真壁仕様とした。構造部材には杉材を、屋内外の化粧材および家具には松材を利用する。柱、梁、桁や柱、束などの構造部材を一部見せることで、部材が持つ「木」の温もりを感じることができると共に庭の「樹」と併せ、周囲の自然環境を住宅でも感じることができ。



■外構計画

4方向に架かる屋根の軒先は、通りへの顔・庭・庭・サービスヤード・裏の庭の4つの屋外空間を形成する。アプローチ、駐車スペース、サービスヤードは屋内の土間ロビーと同仕上げとし、内外の連続性を演出。



A-A' 断面図・断面パース Scale: 1/100

■断面計画

子どもの遊び場となるプレイスペースを台所上部のロフトに計画。食堂と居間から子どもの様子を感じることができ。

プレイスペースは、軸組構法の各部材が縦横に露出しており、まるで木登りをしているかのような高揚感を与える。またハイサイドライトによって木漏れ目のように日差しを感じることができ。



居間と食堂は天井を張らず、開放的な空間とする。一方で和室やその他の諸室は天井を張り、メリハリのある空間とする。



南立面図 Scale: 1/100



東立面図 Scale: 1/100



1階平面図兼配置図 Scale: 1/100

■平面計画

玄関を入った土間ロビーは家の中心である。そこから巻貝のように空間が繋がり、来客対応などに使用する和室や居間などのパブリックな空間から、寝室やホームオフィスのプライベートな空間へと移り変わる。

土間ロビーと台所の上部はロフトとして活用。アウトドア用具の収納は土足利用の土間の利点を活かして土間ロビーに計画。

家事コーナーは台所と隣接して家事動線上に計画。畳2枚分のスペースを設け、土間ロビーや上部のプレイスペースで遊ぶ子どもの気配を感じながら家事が可能。

ホームオフィスは建物端部に計画し、家庭のにぎやかな場とは一線を画す。子供部屋との間には障子窓を設け、親1人で子どもの面倒を見る場合には子どもを部屋で遊ばせ、ホームオフィスから時々様子を覗くことができる。

■建築概要

- ・敷地面積 : 396 m²
 - ・1階延床面積 : 137.46 m²
 - ・ロフト面積 : 14.57 m²
 - ・構造 : 木造平屋
- 在来軸組構法